

世界のデング熱流行状況(更新 19)

(ブラジル)

2010年8月4日 ProMED 情報(UoL Noticias)

(1)サン・パウロ州

1~6月の間、患者数は昨年同期と比較して2.28%の増加でした。保健省の最新データによると、4月末までに患者185,966名が報告されました。また、6月29日までデング熱確定診断患者数は157,200名で死亡患者数は120名ということです。昨年の1~6月はデング熱患者数は6,612名でした。最も発生数が多いのはリベイラン・プレト Ribeirao Preto 市で、患者27,951名と死亡患者11名が発生しています。次いでサン・ホセ・ド・リオ・プレト San Jose do Rio Preto で患者17,729名が発生しました。

(2)アラゴアス Alagoas 州

同州では、今年最初の28週間でデング熱患者32,000名が発生し、19,758名が確定診断されました。昨年同期より845%の上昇です。(昨年同期は患者3,453名が報告され1,871名が確定診断されました。[O Globo])同州の102自治体すべてでデング熱疑い患者が発生し、36自治体が流行状態中で、別の36自治体では警報が出されています。患者発生数が最も多いのはマセイオ Maceio 市で患者8,345名が報告されました。昨年の同期の4倍以上でした。

(3)ペルナンブコ Pernambuco 州

同州は、6月中旬までに171自治体で患者32,136名が報告されました。昨年同期(5,739名)より460%の上昇です。患者の多くはレシフェ Recife 市(5,896名)、Caruaru 市(5,610名)、およびSalgueiro 市(1,881名)に集中しています。

(4)マト・グロッセ・ド・スル Mato Grosso do Sul 州

同州では、7月末の週で患者78,364名と死亡患者43名が報告されました。昨年前半と比べて570%の増加でした。カンポ・グランデ Campo Grande 市で患者39,360名が報告され、ほかにDourados 市(7,116名)、Tres Lagos 市(2,145名)で患者は多く発生しました。

(5)マト・グロッセ Mato Grosso 州

同州では、患者40,528名と死亡患者59名が報告されました。クイアバ Cuiaba 市では患者4,386名と死亡患者11名が報告されました。

(6)ゴイアス Goias 州

同州では、7月までに患者9,244名(昨年より96%の増加)が報告され、ゴイアニア Goiania 市で全患者数の41%が発生しました。

(7)リオ・デ・ジャネイロ Rio de Janeiro 州

同州では、大都市圏のSao Goncaloで患者1,805名と死亡患者8名が発生しました。次いで大都市圏のTanguaで患者1,730名、同州北部のMacaesで患者1,670名が発生しています。(同州では、今年患者数が昨年のほぼ2倍に増加し、今年前半での患者数21,346名、死亡患者数31名が報告されました。昨年は患者数12,403名で死亡患者数12名でした。[GI RJ])

(8)ミナス・ジェライス Minas Gerais 州

同州では、患者220,121名と死亡患者66名が報告されました。ペロ・オリゾンテ Belo Horizonte 市では患者62,337名が、他にBetim 市で18,069名、モンテス・クラロス市で7,276名が発生しています。